

報告事項

「まんが王国とっとり」事業に関連した青谷上寺地遺跡活用事業について

「まんが王国とっとり」事業に関連した青谷上寺地遺跡活用事業について、別紙のとおり報告します。

平成24年6月5日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

「まんが王国とっとり」事業に関連した青谷上寺地遺跡活用事業について

平成24年6月5日
文化財課

子ども達に青谷上寺地遺跡への関心を高めてもらうことを目的に、まんが王国事業に関連した取組を行います。青谷上寺地遺跡史跡活用事業の「田んぼアート及び古代米栽培」と併せて、青谷小学校及び地元のイラストレーターと連携し青谷上寺地遺跡のイメージをイラストで描く講座を開き、そのイラストを青谷上寺地遺跡の事業で活用していきます。

記

1 事業内容

- (1) 青谷町に縁のあるイラストレーターによるイラスト出前講座
 - ・対象：青谷小学校のクラブ活動（4年生～6年生、15名）
 - ・日時：5月8日、6月5日、7月3日、9月4日など毎月の第一火曜日
年10回程度（午後3時15分～4時15分）
 - ・講師：宮本栄一氏（似顔絵画家、現在青谷町に在住、詳細は資料1を参照）
- (2) イラスト等を活用した子ども向け遺跡紹介冊子の作成
- (3) 子どもが描いたイラストを和紙灯ろうに入れて、青谷上寺地遺跡の田んぼアート敷地に展示
(イラスト和紙灯ろうについて資料1を参照、田んぼアートについて別紙2を参照)

2 年間工程表

事業内容	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
イラスト出前講座	■												
子供向けパンフ作成					■								
イラスト和紙灯ろう作成		■											
イラスト和紙灯ろう設置							■						
ようこそ祭り(古代餅提供)							■						
田んぼアート・古代米栽培		■											

3 主催

- 青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会（会長 石井 洋氏）
（青谷上寺地遺跡の保存活用を行うため、鳥取県、鳥取市及び民間団体が協働・連携した協議会）

青谷町に縁のあるイラストレーターのプロフィール(宮本栄一氏)

宮本栄一さんのプロフィール(鳥取市青谷町在住)

似顔絵国際大会で優勝しました!!北米地域を中心に、似顔絵アーティスト7

0人がラスベガスに集結。

3日間似顔絵の技を競い合い、総合部門で優勝しました。

ゴールデンノーズ受賞(総合部門第1位)

National Caricaturist Network 主催

第3回コンベンション in ラスベガス(USA)1994年ブロンズノーズ受賞(総合部門第3位)

フロントビュー部門 第1位

National Caricaturist Network 主催

第4回コンベンション in サン・アントニオ(USA)1995年



似顔絵画家

宮本 栄一

Eiichi miyamoto



TV チャンピオン「似顔絵職人選手権」に出演

全国から選ばれた5人の似顔絵師が職人の技を競いました。テレビ東京制作

日本テレビ朝の番組「ザ!情報ツウ」の似顔絵イラストを担当

月～金曜日のゲストの似顔絵を担当、2年間放送されました。トップの「ギャラリー」で作品を公開中です。



略歴 1968年生まれ。

岡山県倉敷市出身。

AC 美術研究所で絵を学ぶ。

20歳で上京し、大手似顔絵専門会社「星の子プロダクション」に所属。

22歳の頃、西欧を半年間放浪、似顔絵と絵画を研鑽。

以後、観光地やテーマパークで似顔絵アーティストとして活動。

全国各地を巡り、似顔絵イベントに出演。

2003年より独立。

現在鳥取県青谷町に在住。

「第10回あおや和紙灯ろう」のチラシ

第10回
あおや和紙灯ろう
7/23(土)~8/26(金) 19:00 点灯
~22:30

日置川駅前・中町周辺に100基の和紙灯ろうを設置します。
青谷の川面にゆらめく優しい灯りをお楽しみください。

幻想的空間への
おさそい

第10回特別企画
和紙灯ろうギャラリー
イラストレーター
毛利みきさん

このイベントのために、青谷をテーマにしたイラストを描いていただき、中町通りに33作品展示します。
灯ろうの優しい灯りに浮かび上がる、ほのぼのとした可愛いイラストたち。
ぜひ会いに来てください。

主催: あおやよー!ドーン! まちづくりの会・青谷地域づくり連絡協議会
協力: 鳥取市観光協会 青谷町支部

毛利みきさん紹介
イラストレーター毛利氏の長女
小学生時代は青谷小学校に通学し、高校卒業までの10年間を鳥取で過ごす。
武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業後、(株)レマンに入社。グラフィックデザイナーを経てフリーのイラストレーターに。現在、女性誌を中心に広告、書籍、WEBなどで活躍中。

イラスト入りの和紙灯ろう(毛利みきさん作品)



H24 年度 田んぼアート・古代米栽培の実施予定

青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会が活用事業の一つとして、古代米による稲の色の違いで絵柄を浮かび上がらせる「田んぼアート」と古代米栽培に取り組み、6月3日(日)に地元の小学生や一般の方に参加して頂き、古代米の田植え体験を行いました。

なお、収穫した古代米などは10月27日(土)～28日(日)に開催される「青谷ようこそ祭り」で「古代米餅」として無料で提供する予定です。

【平成 24 年度田んぼアート実施予定地】

【平成 23 年度田んぼアートの状況】
(7月下旬)

(9月上旬)



(10月下旬)

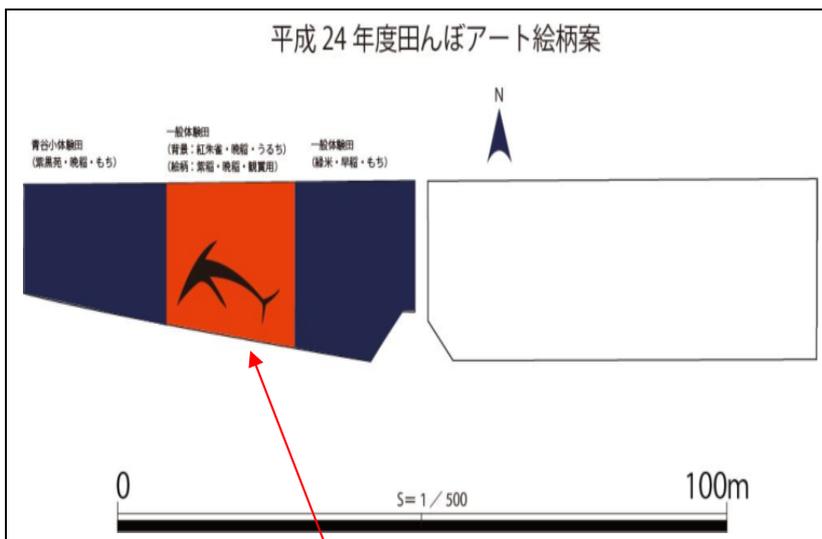


絵柄は青谷上寺地遺跡から出土した動物



(動物が描かれた琴の側板)

平成 24 年度田んぼアート絵柄案



サメが描かれた琴板(青谷上寺地遺跡出土)



青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会設置要綱

(目的)

第1条 国史跡青谷上寺地遺跡の保存・活用を行っていくため、県と市および民間が協働・連携して、保存・活用事業等を行うことを目的とする。

(所掌事項)

第2条 青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会(以下、「協議会」という。)は、次の事項を所掌する。

- (1) 青谷上寺地遺跡の維持管理、活用運営に関する「アクションプラン」の検討
- (2) 青谷上寺地遺跡の維持管理、活用運営に関する事業を実施
- (3) 県及び市が行う整備事業に対して助言
- (4) 協議会の収支予算及び収支決算に関する事項
- (5) その他青谷上寺地遺跡に関する必要な事項の協議

(組織)

第3条 委員は、15名以内で構成し、鳥取県教育委員会教育長が委嘱する。

2 前条の所掌事項について検討するためのワーキンググループを組織する。

3 事務局は鳥取県教育委員会文化財課と鳥取市教育委員会文化財課に置き、県と市が連携して運営を行う。

(会長、副会長及び監事)

第4条 協議会に会長、副会長及び監事を1名置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は協議会における議事を総括する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、職務を代理する。

5 監事は財務を監査し、会長が任命する。

(会議)

第5条 協議会の会議(以下、「会議」という。)の開催は会長が招集し、会長が議長となる。

2 必要に応じて外部の専門家等をオブザーバーとして協議会に出席させることができる。

(経費)

第6条 協議会の経費は、委託料その他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第7条 協議会の収支予算は、会議の議決により決め、収支決算は、監事の監査を経て会議の承認を得なければならない。

(会計期間)

第8条 協議会の会計期間は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(会議の公開)

第10条 協議会は、原則公開とする。

附則

この要綱は、平成22年4月23日から施行する。

附則

この要綱の一部改正は、平成24年4月1日から施行する。

平成24年度 青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会 委員名簿

氏名	所属
石井 洋(会長)	青谷上寺地遺跡友の会会長
沖 廣俊	いなば国府ガイドクラブ代表
高橋 克巳(副会長)	青谷町地域審議会代表
田中 玄洋	学生人材バンク代表理事
田中 慎一	鳥取市観光協会専務理事
田中 正夫	青谷地区まちづくり協議会代表
前家 直樹	J A鳥取いなば代表理事専務
前田 宣子	むきばんだ遺跡応援団事務局
山崎 和子	鳥取市西商工会・女性部代表
渡辺 雅子	青谷小学校校長
武田 行雄	鳥取市経済観光部長
江本 克也	鳥取市教育委員会事務局次長
細羽 正	鳥取県文化観光局長
山本 仁志	鳥取県教育委員会事務局次長